



令和7年度企画展

咸宜園と 大坂のまち

大坂咸宜園の月旦評
日田市初公開!!



天保十一年庚子七月叙席
下関市立歴史博物館蔵



廣瀬旭莊肖像
公益財団法人 廣瀬資料館蔵

2025年 **7月31日(木) » 10月7日(火)**

咸宜園教育研究センター
大分県日田市淡窓2-2-18

開館時間…午前9時～午後5時(ただし、入館は4時30分まで)

休館日…水曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始(12/29～1/3)

【お問い合わせ先】日田市文化スポーツ観光部 咸宜園教育研究センター
Tel/Fax: 0973-22-0268 E-mail: kangien@city.hita.lg.jp

主催: 日田市

後援: 大阪大学大学院人文学研究科懷徳堂研究センター
一般財団法人懷徳堂記念会
関西大学泊園記念会、大阪大学適塾記念センター

入場無料

一般公開 近世大坂の「文事」と「武事」
講演会 ～大坂で生まれる絆～

入場無料／申込不要

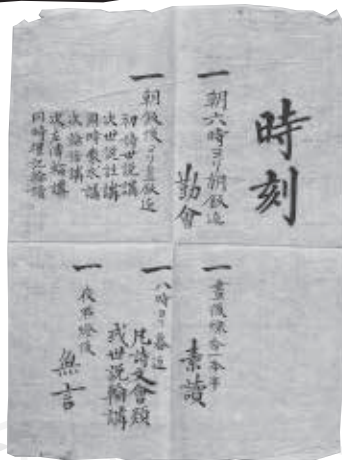
日時 8月2日(土) 午後7時～8時30分

場所 日田市民文化会館
パトリア日田 小ホール

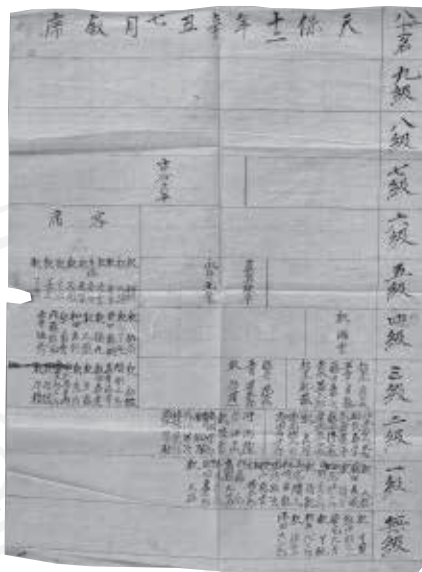


関西大学名誉教授
数田 貴氏

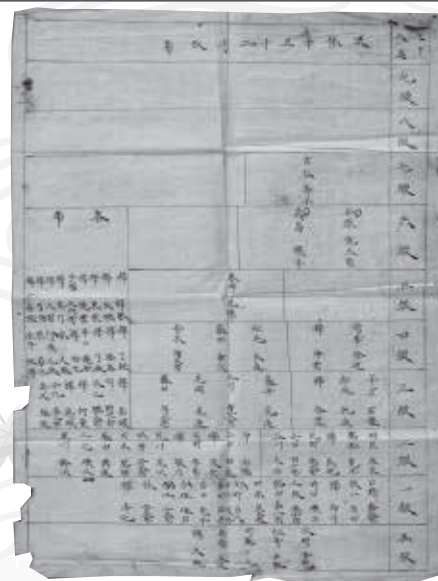
大坂咸宜園の月旦評・時刻 日田市初公開!!



時刻 (下関市立歴史博物館蔵)



天保十二年辛丑七月叙席
(下関市立歴史博物館蔵)



天保辛丑十二月叙席
(下関市立歴史博物館蔵)

大坂咸宜園の月旦評



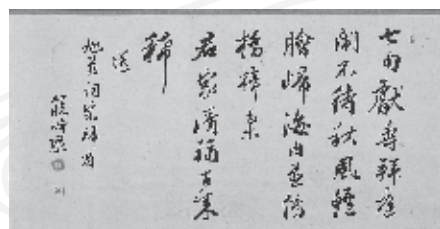
相撲の番付の形で
文人墨客を大坂の八百八橋に
見立てて評価した刷物

パネル展示

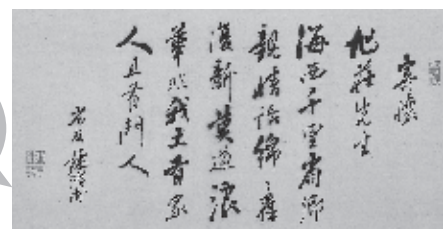
ふうりゅうめいぎょうくらべ
風流名橋競
(池田市立歴史民俗資料館蔵)



キャンドルスナッフアー
(個人蔵/日田市寄託)



旭荘先生西省卷子(篠崎竹陰部分)
(個人蔵/日田市寄託)



旭荘先生送西下漢詩卷子(藤澤東岐部分)
(個人蔵/日田市寄託)

江戸時代、大坂で漁網に
かかったもので、廣瀬旭荘が
緒方洪庵らと検証したが
当時は用途不明だった

旭荘が大坂を
離れる際に
文人たちが
送った寄書

大坂は「天下の台所」と呼ばれ、幕府直轄の町奉行が治める町人を中心とした「まち」だった。江戸後期になると、財力を蓄えた町人のあいだで生活を楽しもうという意識が強くなり、学問や文化が盛んになり、数多くの文人墨客による学問塾が並び立つ、文化都市の様相を呈していた。

一方、咸宜園第2代塾主の廣瀬旭荘(1807～1863)は、かねてから上坂の思いがあり、天保7(1836)年、日田を離れる。堺で開塾したのを契機に、のちに大坂で塾を開く(大坂咸宜園)。大坂咸宜園では、日田の咸宜園と同じように成績を評価する「月旦評」の仕組みがあった。

当時の大坂の様子や文人との交流などを通して咸宜園と大坂のまちについて紹介する。

公開講座 期間：令和7年8月～9月(全5回)

※第2～5回の講座は、事前申し込みが必要です。お問い合わせは咸宜園教育研究センターまで。

回	とき	演題	講師	ところ
1	8月2日(土) 午後7時～8時30分	近世大坂の「文事」と「武事」～大坂で生まれる絆～	関西大学名誉教授 藪田 貫 氏	日田市民文化会館 パトリア日田小ホール
2	8月7日(木) 午後6時30分～8時	懐徳堂と重建懐徳堂	島根大学教授 竹田 健二 氏	日田市役所7階 大会議室
3	8月28日(木) 午後6時30分～8時	藤澤東岐・南岳と泊園書院－大阪ナンバーワンの大私塾－	関西大学教授 吾妻 重二 氏	
4	9月11日(木) 午後6時30分～8時	咸宜園と適塾、広瀬旭荘と緒方洪庵	大阪大学准教授 松永 和浩 氏	
5	9月25日(木) 午後6時30分～8時	梅花社篠崎小竹の雅遊－在阪期の広瀬旭荘との交流－	佛教大学講師 鷲原 知良 氏	